

先端医学研究推進支援センター

分子生命科学支援グループ

原著論文

- 1 °Aoki S, Higashimoto K, Hidaka H, Ohtsuka Y, Aoki S, Mishima H, Yoshiura KI, Nakabayashi K, Hata K, Yatsuki H, Hara S, Ohba T, Katabuchi H, Soejima H: Aberrant hypomethylation at imprinted differentially methylated regions is involved in biparental placental mesenchymal dysplasia. Clin Epigenetics, 14(1): 64, 2022, 5.

学会発表

国際規模の学会

- 1 °Aoki S, Higashimoto K, Hidaka H, Ohtsuka Y, Aoki S, Mishima H, Yoshiura KI, Nakabayashi K, Hata K, Yatsuki H, Hara S, Ohba T, Katabuchi H, Soejima H: Aberrant hypomethylation of imprinted differentially methylated regions is involved in biparental placental mesenchymal dysplasia. ESHG Conference 2022 (hybrid event). 2022, 6, 11-14 (On-site+On-line). E-Poster: EP01.005.

国内全国規模の学会

- 1 °原 聡史, 松久葉一, 北嶋修司, 八木ひとみ, 東元 健, 副島英伸: マウス母性 H19-ICR における高メチル化異常の範囲と表現型との関連性. 第45回日本分子生物学会年会 日本生物物理学会 共催 (ハイブリッド開催). 2022, 11, 30-12, 2 (現地及びオンライン開催).
- 2 °Nunomura S, Uta D, Kitajima I, Nanri Y, Matsuda K, Kitajima M, Ejiri N, Honda Y, Takedomi H, Andoh T, Conway SJ, Izuhara K: The emerging role of periostin in NF- κ B-mediated inflammation with type 2 inflammation and itching in allergic skin inflammation. The 51st Annual Meeting of the Japanese Society for Immunology (hybrid event). 2022, 12, 7-9 (on-site+on-line), 2022, 12, 10-2023, 1, 10 (On-demand).

地方規模の学会

- 1 伊東利津: コロナ禍における対面形式での学生実習の実施. 九州地区総合技術研究会2022佐賀大学 (オンライン開催). 2022, 3, 8-9 (Webex).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
教務員	本田 裕子	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	1	メカノセンサーチャンネルが制御する口蓋癒合機構	1,300

社会医学支援グループ

著書

- 1 °川久保善智, 竹下直美, 大野憲五: 三重津海軍所跡から出土した周産期人骨について. 幕末佐賀藩 三重津海軍所跡Ⅶ, IV章, 276-282, 2022, 3, 佐賀市教育委員会, 佐賀.

原著論文

- 1 °Iwasaka C, Yamada Y, Nishida Y, Hara M, Yasukata J, Miyoshi N, Shimanoe C, Nanri H, Furukawa T, Koga K, Horita M, Higaki Y, Tanaka K: Reply to the comments on “Association between habitual coffee consumption and skeletal muscle mass in middle-aged and older Japanese people”. Geriatr Gerontol Int, 22(1): 89-91, 2022, 1.
- 2 °Nishida Y, Hara M, Higaki Y, Taguchi N, Nakamura K, Nanri H, Imaizumi T, Sakamoto T, Shimanoe C, Horita M, Shinchi K, Tanaka K: Sedentary time, physical activity, and serum SPARC in a middle-aged population. Eur J Sport Sci, 22(11): 1786-1794, 2022, 11.
- 3 °Nishida Y, Hara M, Ohmomo H, Ono K, Shimizu A, Horita M, Shimanoe C, Taguchi N, Higaki Y, Tanaka K: Epigenome-Wide Association Study Identified VTI1A DNA Methylation Associated With Accelerometer-Assessed Physical Activity. Med Sci Sports Exerc, 54(11): 1879-1888, 2022, 11.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 °川久保善智, 竹下直美, 大野憲五: 相同モデルを応用した男性顔面骨格からの鼻部表面形状復元. 第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会 連合大会 (ハイブリッド開催). 2022, 9, 16-19 (現地開催及びライブ配信).
- 2 °川久保善智, 竹下直美, 大野憲五: 相同モデルを応用した顔面骨格からの鼻部形状復元. 第127回日本解剖学会総会・全国学術集会 (全面WEB方式開催). 2022, 3, 27-29 (ライブ配信), 2022, 3, 27-29, 2022, 4, 8-5, 27 (オンデマンド配信).
- 3 °西田裕一郎, 原めぐみ, 檜垣靖樹, 田口尚人, 中村和代, 南里妃名子, 今泉 猛, 坂本龍彦, 島ノ江千里, 堀田美加子, 新地浩一, 田中恵太郎, J-MICC Study Group: 肝逸脱酵素に対する身体活動とコーヒー飲用および飲酒の交互作用. 第32回日本疫学会学術総会 (オンライン開催). 2022, 1, 26-28 (ライブ配信), 2022, 1, 26-3, 13 (オンデマンド配信).

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	1:代表 2:分担 該当番号を記入	研究課題等	交付金額 (千円)
技術職員	竹下 直美	科学研究費助成事業	基盤研究(C)	2	百年ぶりに発見された石田三成頭蓋の石膏レプリカに基づく復顔	507

病因病態科学支援グループ

原著論文

- 1 °Kitamura S, Kai K, Nakamura M, Tanaka T, Ide T, Noshiro H, Sueoka E, Aishima S: Cytological Comparison between Hepatocellular Carcinoma and Intrahepatic Cholangiocarcinoma by Image Analysis Software Using Touch Smear Samples of Surgically Resected Specimens. Cancers (Basel), 14(9): 2301, 2022, 5.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 *花島克幸, 芥川剛至, 力武美保子, 佐久本孟寿, 二又真紀, 中尾佳史, 横山正俊, 戸田修二, 青木茂久: 物理的及び生物学的微小環境は子宮頸部扁平上皮癌の細胞挙動を調節する. 第111回日本病理学会総会 (ハイブリッド開催). 2022, 4, 14-16 (現地開催及びライブ配信), 2022, 4, 14-6, 15 (オンデマンド配信).
- 2 °森戸小百合, 川崎麻己, 佐久本孟寿, 西山めぐみ, 青木茂久: 脂肪細胞が子宮体癌に及ぼす影響の解明. 第39回分子病理研究会. 2022, 7, 8-9.
- 3 °岩本脩平, 西山めぐみ, 佐久本孟寿, 森戸小百合, 山下佳雄, 青木茂久: 舌扁平上皮癌における微小環境の役割とその制御機構. 第39回分子病理研究会. 2022, 7, 8-9.
- 4 佐久本孟寿, 西山めぐみ, 森戸小百合, 青木茂久: 肺癌の悪性度を規定する微小環境の解明. 第39回分子病理研究会. 2022, 7, 8-9.

地方規模の学会

- 1 °井樋有紗, 甲斐敬太, 中村光男, 川崎佳奈子, 石田知也, 峯崎晃充, 山内盛泰, 武市幸奈, 倉富勇一郎, 相島慎一: 穿刺吸引細胞診で悪性を疑った Hürthle cell adenoma の一例. 第38回佐賀県臨床細胞学会地方会. 2022, 3, 19.
- 2 °井樋有紗, 甲斐敬太, 中村光男, 川崎佳奈子, 石田知也, 峯崎晃充, 山内盛泰, 武市幸奈, 倉富勇一郎, 相島慎一: 穿刺吸引細胞診で悪性を疑った好酸性細胞型濾胞腺腫の一例. 第37回日本臨床細胞学会九州連合会学会 (ハイブリッド開催). 2022, 7, 23-24 (現地開催), 2022, 8, 3-31 (オンデマンド配信).

情報メディア支援グループ

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 °上村哲司, 渡邊英孝, 立石洋二郎: アームクレーンを用いた高画質な手術動画撮影から形成外科手技を伝える編集まで (ビデオ教育シンポジウム). 第27回日本形成外科手術手技学会 (ハイブリッド開催). 2022, 2, 19 (現地ならびに WEB 開催), 2022, 3, 1-8 (オンデマンド配信).
- 2 °上村哲司, 渡邊英孝, 立石洋二郎: 糖尿病性足部神経障害に伴う足根管症候群に対する鏡視下手術. 第27回日本形成外科手術手技学会 (ハイブリッド開催). 2022, 2, 19 (現地ならびに WEB 開催), 2022, 3, 1-8 (オンデマンド配信).
- 3 °吉住茉莉子, 渡邊英孝, 上村哲司, 立石洋二郎: 頬表皮嚢腫の摘出における手術手技. 第27回日本形成外科手術手技学会 (ハイブリッド開催). 2022, 2, 19 (現地ならびに WEB 開催), 2022, 3, 1-8 (オンデマンド配信).
- 4 °渡邊英孝, 上村哲司, 立石洋二郎: 遊離自家骨移植術における肋骨外板 (in situ splitting rib bone) の採取・細工のコツ. 第27回日本形成外科手術手技学会 (ハイブリッド開催). 2022, 2, 19 (現地ならびに WEB 開催), 2022, 3, 1-8 (オンデマンド配信).
- 5 °上村哲司, 中川栄治, 渡邊英孝, 吉岡史隆, 阿部竜也, 立石洋二郎: 頭蓋縫合早期癒合症に対する内視鏡補助下頭蓋縫合切除術とヘルメット治療. 第76回手術手技研究会 (ハイブリッド開催). 2022,

- 5, 20-21 (現地開催+LIVE 配信).
- 6 ○渡邊英孝, 中川栄治, 上村哲司, 立石洋二郎: 形成外科手術における肋骨外板 (in situ splitting rib bone) の採取・細工手技. 第76回手術手技研究会 (ハイブリッド開催). 2022, 5, 20-21 (現地開催+LIVE 配信).
- 7 ○中川栄治, (他7名), 立石洋二郎: アームクレーンを用いた高画質な手術動画撮影から形成外科手技. 第76回手術手技研究会 (ハイブリッド開催). 2022, 5, 20-21 (現地開催+LIVE 配信).